FURUTECH

Review

Net Audio

2012 AUTUMN vol.07 - Japan

AD変換にも対応する多機能DAC ESPRITの実力を聴く

Text by
中林直樹
Naoki Nakabayashi

Photo by
田代法生

ADL
ESPRIT
¥71,400

Specification

●サンプリング周波数:96kHz/24bit(USB再生・MAX)、32/44.1/48/96kHz(USB録音)、192kHz/24bit(COAXIAL、TOS)●周波数特性:20Hz~20kHz●S/N:-95dB(A-wtd、ライン出力)●ヘッドフォン出力レベル、156mW(16Ω)、224mW(32Ω)、241mW(56Ω)、130mW(300Ω)、76mW(600Ω)●サイズ:150W×57H×141Dmm●質量:約970g●取り扱い:フルテック(株)

コンパクトなサイズながらアナログ入力を2系統装備。ヘッドフォンアンプとしても存分に活用できる

高いパフォーマンスを誇るADLのトップモデル

高品位なケーブルやオーディオアクセサリーを手がけるフルテック。そこから誕生したブランドがADL(アルファ・デザイン・ラボ)で、主にコストパフォーマンスの高いプロダクトを展開中だ。既に音声ケーブルやヘッドフォンアンプ、DAコンバーターなどがリリースされている。さて、本機はDAだけでなく、ADつまりアナログ信号をデジタル信号に変換して出力する機能も搭載した、一見、異例の製品である。しかし、ヨーロッパでは、アナログの音源、たとえばアナログレコードやカセットテープの音声データを、デジタルでアーカイブ化することが日本より盛んだという。だから本機を一台手に入れることで、デジタルとアナログというフォーマットの垣根が限りなく低くなるのだ。こうしたAD変換は、小さいながらも、今後のネットオーディオのひとつの潮流になるかもしれない。アナログレコードが再び活況を呈して来ていることでもあるし。いずれ機会を設けて、ADコンバートについてもハンドリングしてみたい。

重心の低さが持ち味でまとまりの良さは特筆

USB入力は96kHz/24bitまで対応。伊藤ゴローの『グラスハウス』(96kHz/24bit WAV)を聴いてみる。音楽の中心であるアコースティックギターの音色が極めてマイルドだ。ギター、ベース、チェロなど音楽全体のまとまりの良さは特筆すべきところだ。また、ブラジルの天才、アンドレ・メーマリのピアノはバンドサウンドの中で時折、独特の蠱惑的なメロディを放っているのが分かる。エスペランサ『ラジオ・ミュージック・ソサイエティ』(96kHz/24bit FLAC)は彼女の歌声にもベースにも、とにかく厚みが加わる。つまり、重心の低さが持ち味といえるだろう。

また、本機にはヘッドフォンアンプも搭載。そのクオリティもチェックしてみた。伊藤ゴローはスピーカーでのインプレッションと同様、剌々しさの見当たらない穏和な表情を感じさせる。ストリングスはさらに濃厚になったような印象だ。エスペランサはヴォーカルとバンドが渾然一体となって耳に届く。音場は拡散し過ぎず、広がりはナチュラルそのものだ。

FURUTECH

Review

Net Audio

2012 AUTUMN vol.07 - Japan

エントリー機としても魅力的な一台
使いやすいADコンバーター機能

ADL

Esprit

¥71,400

SPEC

●対応最大サンプリングレート:192kHz/24bit(USB接続では96kHz/24bit)●入力端子:アナログRCA×2、同軸デジタル×1、光デジタル×1●出力端子:アナログRCA×1、光デジタル×1、ヘッドフォン×1●USB端子:Bタイプ(入出力対応)●サイズ:150W×57H×141Dmm●質量:約970g●取り扱い:フルテック(株)

押し出しの良い低域と実に瑞々しい音色感

機能的にはずいぶん多彩だ。USB DACであり、ヘッドフォンアンプを搭載し、音量調節のできるプリアンプとしても使える。AD変換してUSBで出力。また、USB入力をS/PDIFにするDD変換もできる。パーツとしてはシーラスロジックのADデバイスCS5361を採用している。AD変換したデータの音の印象は、音場感はセンターにまとまる方向で、奥行きが出てくる。アコースティックギターの音色感など実に瑞々しく、シンバルも損失感なく変換できている。低域の押し出しがいいので、上品なドンシャリの傾向もあるが、それがいい意味でのハイファイ感につながっている。

(鈴木)

編集部によるハンドリングレポート

本機は2chの入力のみというシンプルなAD機能となるので、使い勝手は非常に良い。接続にも迷うことはまずなく、ADコンバートの際はドライバーも不要なので、すぐに使えるという点も魅力的だ。ただし、DAWなどのソフトウェアで使用できない場合もあるので注意が必要となるだろう。基本的には、使い勝手、ヘッドフォンによるモニタリング性能も含めて、実にCPに優れたADコンバーター機能を誇る一台といえる。